

アイコンクリックからスタートです。

終了はフォームの右上Xをクリック



アドインファイル開始ボタン
(製品版設定後)

試供版の開始ボタン
試供版のセルに表示



送信は選定セルに値を入力します。
注：送信先のセルデータは書き換えられます。

コピーはクリップボードにコピーします。
注：この操作に不都合があれば、
ファイルをExcelから開いてください。

2の平方根は：⇒「2」「√」「=」
2の二乗は：⇒「2」「x x」「=」
2の1/xは：⇒「2」「1/x」「=」
INは：⇒上画面の計算式が消えます。
+/-は：⇒符号が変わります。
"+"=>"-"⇒" " (符号なし)
Sum(地)はフォームが出ますので範囲を指定してください、セル単一範囲の合計が算出されます。
MRボタンでメモリー記憶をします。画面にMR=にて標示され、-M・+Mにて計算に挿入できます。
MCボタンでメモリー削除をします。

ボタンは早く押すと認識しない場合がありますので、
間を開けて確実に押してください。
その都度入力結果を確認してください。

入力を計算式の形で記憶し最終に計算結果を求めます
ので、あまり長くないようにご自身で確認できる
範囲で使用してください。

Excel電卓使用の特記事項

ご利用にあたっては使用者の自己責任で、作成者は一切責任を負わない事をご了解下さい。
また、プログラムの改造・再配布は禁止致します。
仕様は予告なく変更されることがあります。

注意事項：送信等の結果は送信先の書式設定により表示結果に不都合が生じることがあります。

複数セル選択では、[セル範囲選択]+[.]...
の繰り返し
最後は、[セル範囲選択]+[OK]または[リターン]
となります。

注意事項

- ※：文字セル値は数値とは認識されません。
- ※：日付数値では大きな値となります。

Ver.2.00に伴う追記

記述モード

■ボタンで開始します。
例：⇒「1」「0」「/」「2」「0」「送信」
10/20 (文字列表示)となります。
「送信」又は「コピー」で記述送りとなり、
+記述モードも終了します。
「Clear」でモード終了

日付モード

■ボタンで開始します。
カレンダー画面で必要な日付をクリック
日付選択画面で「切り替え」にて表示形式選択
日付選択画面で「▼」再選択カレンダー画面へ
日付選択画面で「送信」・・・フォーム画面へ
日付選択画面で「X」終了・・・フォーム画面へ
※セル書式は指定値に変更されます。

() 計算式挿入モード

() 付き計算式を入力途中から挿入します。
四則記号の後に「(」から開始「)」で終了
「(」の数は同数にしてください
複数の「(」の使用は可能
記入後は四則記号又は「=」にて通常モード
例：2+((3-1)*5)+56=
68
「2」「+」「(」「(」「3」「-」「1」「)」
「x」「5」「)」」「+」「5」「6」「=」
68
表示のない状態「Clear」の状態ですら「=」にて
計算式挿入モードに直接入ります。
※ Excelの計算形式にまとめてください。

セルの移動

▲▼<>各方向にセルの移動をします。

送信後の移動選択

ボタンをクリックすると押したままの状態となり
数値を送信後にセルを移動します。
再びクリックすると解除されます。

縮小モード

電卓のみ縮小用スクロールバーを設けています。
倍率によりボタンの文字が見にくくなります。

注意：Excelの浮動小数点数の格納方法および計算方法は、
数値として格納できる有効桁数は「15桁」のみなので、
「15桁目」より下位の桁はゼロに変更されてしまいます。



Ver2.20に伴う追記

挿入モード

セルの記述値に追加するモード
 記述モードと併用することにより計算式に追加。
 セルが文字列の場合文字の結合として挿入
 セルが標準や数値の場合計算式に挿入結合
 ■ボタン(記述モード)+記述+■ボタンで挿入
 記述例: +200-(300+50)*2 ■ボタンクリック
 注意: 通常挿入結合の場合、先頭に四則記号が必要
 セルが文字列の場合 例: 文字列の300の場合
 セル表示: 300+200-(300+50)*2 文字結合のみ
 セルが数値の場合 例: 数値の300の場合
 セルの記述: =300+200-(300+50)*2 計算式挿入
 セルの表示: -200 計算結果の表示
 「Clear」でモード終了



挿入モードボタン ■ボタンクリックで挿入
 ※ Ver2.50に伴い[√]ボタンの左側に位置変更されました。

Ver2.30に伴う追記

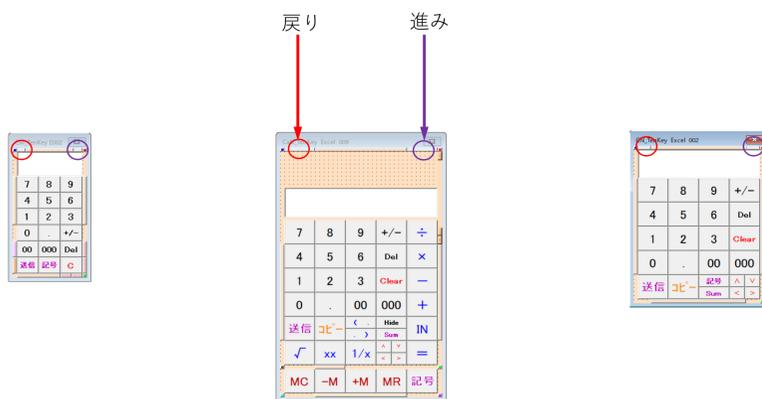
Undo機能

一回分の変更を「戻り」・「進み」モード
 「戻り」・「進み」ボタンを交互に表示する。

注意事項:

[シートの保護]時には、下記の除外が必要です。

- ロックされていないセル範囲の選択
- セルの書式設定



Ver2.50に伴う追記

テンキー標準の縮小機能

縮小ボタンクリックにて順次縮小、クリックを
 順次行い、最終で元のサイズに戻る。
 縮小回復ボタンクリックで標準サイズ。

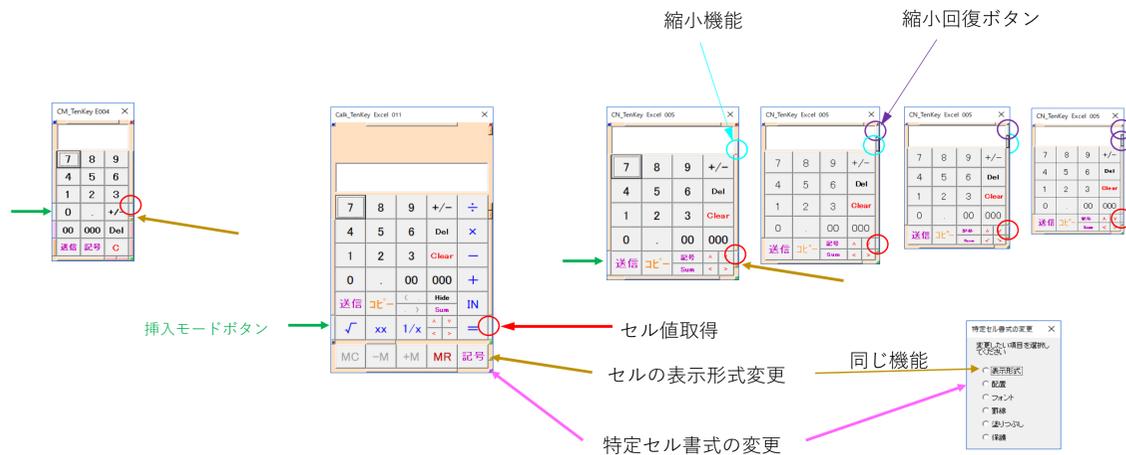
セル値取得機能

セルの値を入力画面に取り込みます。
 セルを選択後に指定ボタンをクリック、
 数値以外は取得できません。

注意事項: 上記と同様

[シートの保護]時には、下記の除外が必要です。

- ロックされていないセル範囲の選択
- セルの書式設定



Ver2.53に伴う追記

関数Sum数式挿入機能

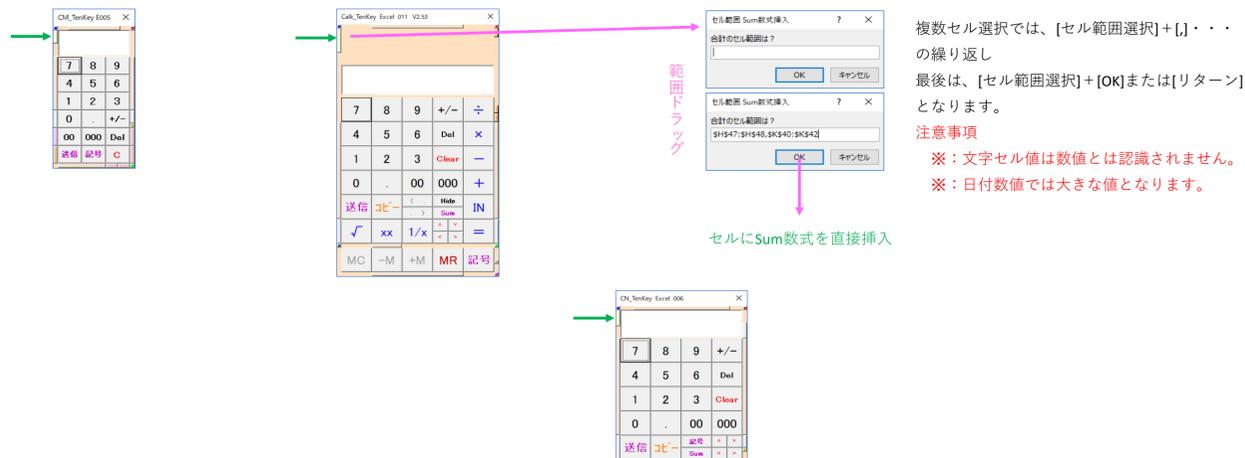
fxSumはフォームが出ますので範囲を指定してく
 ださい、現在選択のセルに指定セル範囲の合計が
 範囲値の数式で挿入されます。

Sum・fxSumの複数範囲の選定方法

フォームでの選択で、範囲,範囲,・・・範囲
 [OK]または[リターン]
 注意 ,は半角のカンマ区切り

注意事項:

挿入先のセルの表示形式により表示は変わります。
 保護されたセルには挿入できません。



Ver2.54に伴う追記

ジャンプ機能

選択セルから記入セル範囲端への上下左右移動

上下方向の移動: 上側のボタンから

最上側

上移動

下移動

最下側

End(xlUp).Row・End(xlDown).Rowを利用

左右方向の移動: 右側のボタンから

最右側

右移動

左移動

最左側

End(xlToRight).Column・

End(xlToLeft).Columnを利用

